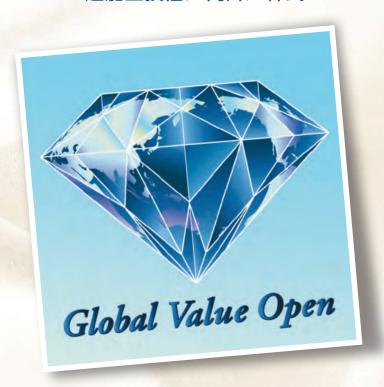
販売用資料 2024年2月

# グローバル・バリュー・オープン

追加型投信/内外/株式

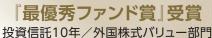






『最優秀ファンド賞』受賞 投資信託20年/外国株式バリュー部門









『最優秀ファンド賞』受賞 投資信託/外国株式バリュー部門



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



# 池田泉州丁丁証券

商 号:池田泉州TT証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号

加入協会:日本証券業協会

設定・運用は

## NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号:野村アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会/

一般社団法人日本投資顧問業協会/

一般社団法人第二種金融商品取引業協会



# ファンドのポイント

▼ファンドは長い運用実績があり、世界の優良銘柄を割安な水準で買い付け、長期に わたって保有することにより、大きな投資成果を目指します。

1

# 長い運用実績

●ファンドは25年以上(設定日:1996年11月29日)の運用実績があります。

2

## バリュー投資を基本とし「配当利回り」に着目

●ファンドは「配当利回り」に着目することに加え、各種バリュエーション指標を参考にし、割安性を重視した投資を行ないます。

配当利回りに着目した株式投資は、配当(現金)収入によるリターンの安定化、株価下支え、過熱投資回避などの効果が期待されます。

3

## 世界の優良銘柄を厳選

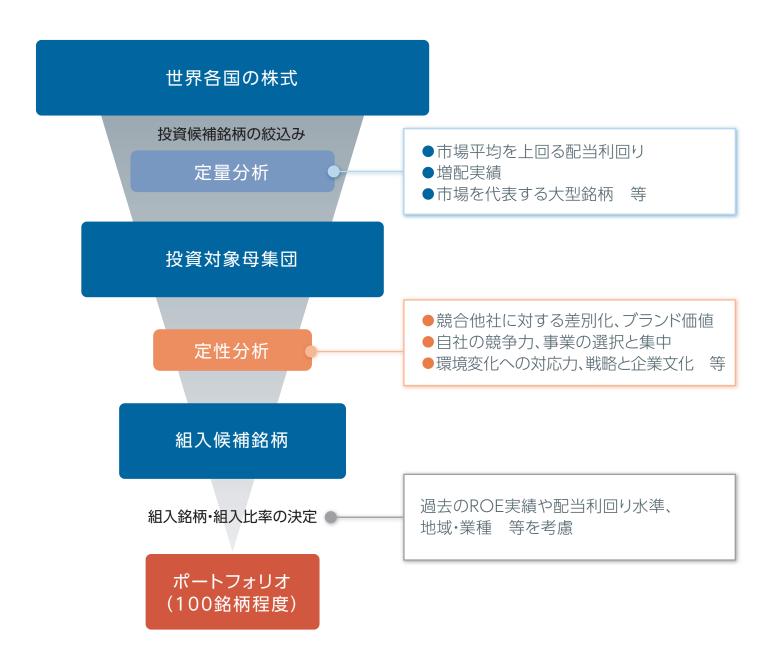
●ファンドでは、「安定的な収益力」「収益力を維持する仕組み」「株主還元姿勢」という観点から、継続的に株主価値を向上できると思われる優良銘柄を厳選して投資します。収益力を示す指標として、ROE(自己資本利益率)の水準などに着目します。



# ファンドの運用プロセス

♥世界各国の株式から、以下のプロセスでポートフォリオを構築します。個々の企業の調査・分析により、ボトムアップ・アプローチで銘柄を選択します。

## 運用プロセス



上記の運用プロセスは、ファンドの運用プロセスの基本的な考え方のイメージを示したものです。また、今後変更となる場合があります。



# ファンドのパフォーマンス

▼ファンドは25年以上(設定日:1996年11月29日)の運用実績があります。

## 基準価額(分配金再投資)とベンチマーク\*のパフォーマンス推移

期間:1996年11月29日(設定日)~2023年11月末、月次



96/11 98/11 00/11 02/11 04/11 06/11 08/11 10/11 12/11 14/11 16/11 18/11 20/11 22/11(年/月)

- ※MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が円換算したものです。(2024年2月の販売用資料より「配当無し」の指数から「配当込み指数」に変更しております。 ただし、指数データの関係上2001年1月末までは「配当無し」となります。)
- (注)基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

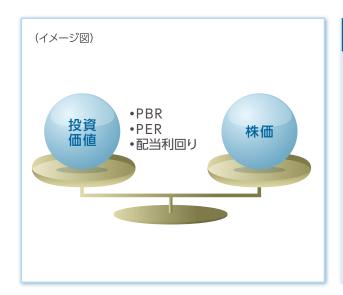


# バリュー投資/配当利回り

- ▼ バリュー投資とは、企業の収益力、資産価値等から算出される企業の投資価値に 比べて、株価が割安と判断される銘柄へ投資するスタイルをいい、ファンドは配当 利回りに着目することに加え、各種バリュエーション指標を参考にし、割安性を重視 した投資を行ないます。
- ▼配当利回りに着目した投資には、トータル・リターン\*の安定化、株価下支え、過熱投資回避などのメリットがあると考えられます。

※売買損益(含む評価損益)と配当収入の合計。

#### バリュー投資



## 一般的なバリュー指標

- PBR(Price Book value Ratio、株価純資産倍率)
- 企業の資産価値に対して、どれだけの株価がついている かを示す指標。
- PER(Price Earnings Ratio、株価収益率)
- 企業の収益力に対して、どれだけの株価がついているか 示す指標。
- 配当利回り
  - 株価に対して、どれだけの率で配当が支払われているか 示す指標。

## 配当利回りに注目した投資のメリット

配当収入による トータル・リターンの安定化

投資期間中に得られる配当の積み上げは、トータル・リターンの安定化につながります。



## 配当利回り効果



## 株価下支え

株価が下落すると配当利回りが上昇し、債券や預貯金などの利回りとの比較から投資対象として見直されます。



#### 過熱投資回避

株価が上昇すると配当利回りが低下するため、ファンダメンタルズから乖離して過度に買い上げられることが少なくなります。

(注)上記はあくまでも配当金が変わらないという前提での例になります。実際には株価が下落しても配当金の減少で配当利回りが上昇 しない場合や、配当金が支払われない場合などがあります。



# 高配当株のパフォーマンス

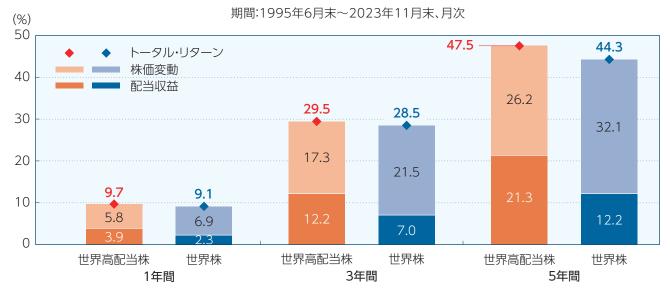
- ▼世界高配当株のパフォーマンスは、95年6月末以降の期間において概ね世界株を上回りました。
- ▼世界高配当株のトータル・リターンは、各期間(1年間、3年間、5年間)の平均騰落率で、世界株を上回りました。その要因としては、世界株より高い配当収益が大きく寄与していると考えられます。

## 世界高配当株のパフォーマンス

期間:1995年6月末~2023年11月末、月次



#### 世界高配当株と世界株の期間別の平均騰落率



(注)2023年11月末から過去に遡り毎月末算出した各期間(1年間、3年間、5年間)の騰落率を平均した数値です。 四捨五入のため表記の数値が合わない場合があります。

世界高配当株:MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス(配当込み、現地通貨ベース)、世界株:MSCIワールド・インデックス(配当込み、現地通貨ベース)

(出所)FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。 <u>また、ファンドの運用実績ではありません。</u>ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

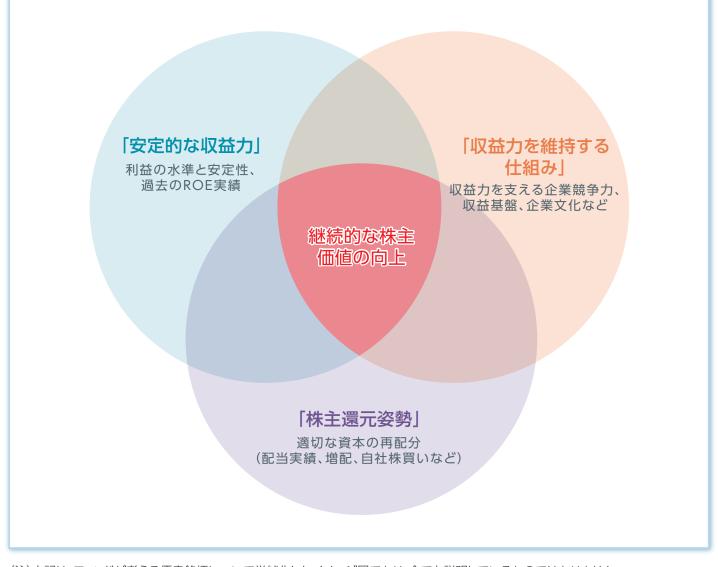


# 世界の優良銘柄を厳選

- ▼ファンドが考える優良銘柄とは、景気変動を乗り越え、長年にわたり安定的に成長してきた実力企業です。
- ▼ファンドは、「安定的な収益力」「収益力を維持する仕組み」「株主還元姿勢」という 観点から、継続的に株主価値を向上できると思われる優良銘柄を厳選します。

## ファンドが考える優良銘柄

「安定的な収益力」「収益力を維持する仕組み」「株主還元姿勢」を持ち合わせる優良銘柄は、 高い利益水準を継続して達成し、利益成長のための設備投資や、積極的な株主還元(増配、 自社株買い)を行なうことから、継続的に株主価値を向上できると考えられます。



(注)上記は、ファンドが考える優良銘柄について単純化したイメージ図であり、全てを説明しているものではありません。



# 継続的な株主価値の向上

- ▼ファンドは、収益力を示す指標として、ROEに着目しています。
- ▼ 高い収益力を持つ高ROE企業は、企業活動による利益の拡大や積極的な株主還元が可能であり、高ROEを維持する企業は、継続的な株主価値の向上が期待されます。

ROE(自己資本利益率)とは、ROE(自己資本利益率)とは、投下した資本に対し、企業がどれだけの利益を上げられるのかを示した指標です。

ROE(%) (自己資本利益率) 当期純利益

 $\times$  100

自己資本

#### 高ROEのためには

ROE (自己資本利益率)

当期純利益

自己資本

当期純利益

企業活動による利益の拡大 (設備投資、売上を伸ばす 等)

自己資本

積極的な株主還元 (増配・自社株買い)

高ROE企業
・企業活動による
利益の拡大
・積極的な株主還元
・積極的な株主還元



# 継続高ROE銘柄群のパフォーマンス

♥ 継続高ROE銘柄群のパフォーマンスは、世界株を大きく上回りました。

## 継続高ROE銘柄群のパフォーマンス(米ドルベース)

期間:2003年12月末~2023年11月末、月次



継続高ROE銘柄群:先進国の株式のうち、各月末時点で過去10年間のROEが米国は15%以上、日本は5%以上、その他の国は8%以上を継続している銘柄で構成。月次でパフォーマンスを計測。

世界株:MSCIワールド・インデックス(配当込み)

(出所)FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成



# 優良銘柄の例 ~ジョンソン・エンド・ジョンソン~

## ジョンソン・エンド・ジョンソン

围

アメリカ

(Johnson & Johnson)

業種

医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

世界最大級の総合ヘルスケア企業。

バンドエイドなど家庭用ヘルスケア関連製品や医療機器、医薬品などを提供。

#### ポイント

- ●2017年は米国の税制改革に伴う一時的な費用計上により、ROEが低下したものの、2018年12月期以降のROEは高水準を回復。配当は50年以上連続の増配実績。
- ●自社での製品開発に加えて、買収による製品の獲得や改良およびコストダウンを行ない、グローバルな販路を活用。
- ●売上高の10%超を研究開発に投資、広範な製品により安定的な収益を創出。

(出所)同社IR資料、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### 株価の推移

# 期間:2005年12月末~2023年11月末、月次 (米ドル) 180 160 140 120 100 80 60 60 60 05/12 08/12 11/12 14/12 17/12 20/12 (年/月)

## 1株当たり配当金、ROEの推移



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は、「優良銘柄」の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。 また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

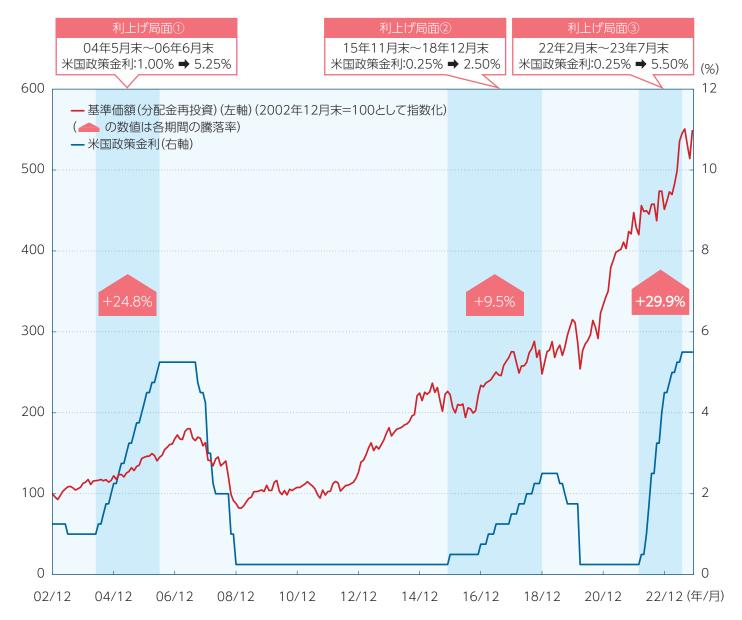


# 金利上昇局面におけるパフォーマンス

▼2002年12月以降、米国政策金利の上昇局面において、基準価額(分配金再投資) は概ね上昇しました。

## 金利上昇局面における基準価額(分配金再投資)の推移

期間:2002年12月末~2023年11月末、月次



米国政策金利:フェデラルファンドレート(FF金利)の誘導目標値。政策金利目標値は年0-0.1%等、幅で設定される場合がありますが、グラフ上はブルームバーグのデータ(レンジの上限値)を使用しています。

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

(注)基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

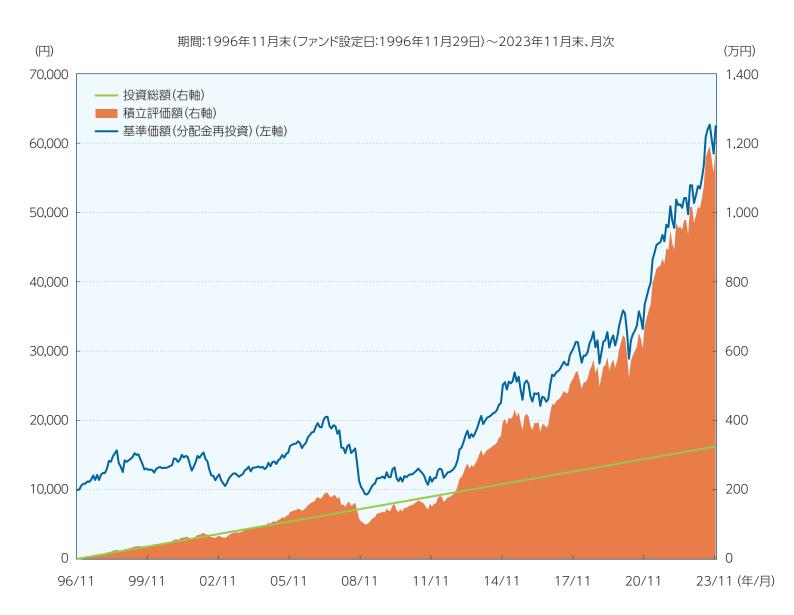


# (ご参考)積立投資のパフォーマンス



## 毎月末に1万円をファンドに積立投資した場合のシミュレーション

■積立投資とは、一度にまとめて投資(一括投資)するのではなく、タイミングをずらして投資を続ける 手法で、「時間分散」が実現できます。下記の期間では、毎月末に1万円ずつファンドに積立投資を行 なった場合は、投資総額が325万円に対し、積立評価額は約1,190万円となりました。



(注)・基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。

したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・上記は基準価額(分配金再投資)を基に試算した結果であり、実際のファンドで積立投資する場合は分配金払い出し後の基準価額で購入するため、上記の積立評価額は実際と異なる場合があります。算出過程で手数料、税金等は考慮していません。

(出所)野村アセットマネジメント作成



# ファンドの特色



## 内外の株式(DR(預託証書)\*1を含みます。)を実質的な主要投資対象\*2とし、 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

- ※1 Depositary Receipt (預託証書)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
- ※2 ファンドは、「グローバル・バリュー・オープン マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。 「実質的な主要投資対象 | とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ◆マザーファンドの運用にあたってはノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。



# 「バリュー投資」を基本とし、割安性を重視した投資を行なうことを基本とします。

- ◆世界各国の株式の中から優良銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。
- ●株式への投資にあたっては、配当利回り等の各種バリュー指標をもとに、ポートフォリオマネージャーの判断に基づき割安と思われる銘柄に投資を行なうことを基本とします。
- ●主な投資対象国は、アメリカ・イギリス・日本等の主要国です。地域、国、銘柄に分散投資することで、ファンド 全体のリスクを低く保つことを目指します。
- バリュー投資を有効に機能させるため、主要国の中・大型株が中心となります。主要国以外でも特に投資魅力のある銘柄は個別に組み入れを検討します。
- ◆「バリュー投資」を基本とします。
- ●ファンドは、「配当利回り」に着目することに加え、各種バリュエーション指標を参考にし、割安性を重視した投資を行なうことを基本とします。
- ◆ボトムアップ・アプローチで銘柄を選択します。
- ●銘柄選択にあたっては、個々の企業の調査・分析により銘柄を選択します。 経済予測などのマクロ分析ではなく、運用チームが独自に企業訪問を含む調査・分析を行ないます。また、国内 および委託会社現地法人のアナリストによるサポートも活用します。
- ●ファンドは安定的な収益力が見込まれる企業を重視します。 株価は長期的には企業の収益力を反映すると考え、過去の業績推移やその実績を生み出してきた企業文化等 を精査することで、収益力が安定的に継続すると見込まれる企業を選定します。また、収益力の安定性を測る 尺度としてROE(自己資本利益率)の水準とその継続性にも着目します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 ただし、市場動向等により弾力的に変更を行なう場合があります。
- MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)\*3をベンチマークとします。
  - ※3 「MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が円換算したものです。

MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIIC 帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



## 為替ヘッジについては、弾力的に対応します。

実質組入外貨建資産の為替ヘッジについては、ヘッジ比率を0%におくことをベースに、急激な円高が予想される場合には投資環境・ヘッジコスト等を総合的に勘案しながら通貨の売り予約を行ない、弾力的に対応します。



# 投資リスク 他

#### 当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式 の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあり ます。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することが あります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### ≪基準価額の変動要因≫ 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

- ◆株価変動リスク
  - ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。
- ◆為替変動リスク

ファンドは、実質組入外貨建資産について、弾力的に為替ヘッジ比率の変更を行ないますが、ヘッジ比率を0%におくことを基本としますので、為替変動の影響を大きく受けることがあります。

#### ≪その他の留意点≫

- ◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ●ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が 急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が 限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが 中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ●ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- ●有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ●ファンドのベンチマークは、市場の構造変化等によっては今後見直す場合があります。また、ベンチマークに対して一定の投資成果をあげることを保証するものではありません。
- 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴なう売買等が生じた場合などには、ファンド の基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- ●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、 実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

#### ≪当資料で使用した指数について≫

●MSCIワールド・インデックス、MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



## お申込みメモ/当ファンドに係る費用/課税関係 他

#### お申込みメモ

●信託期間		無期限 (1996年11月29日設定)
●決算日および 収益分配		年2回の毎決算時(原則、5月および11月の28日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	1日1件10億円を超えるご換金は行なえません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。

課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)を利用した場合には課税されません。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

#### 当ファンドに係る費用

(2024年2月現在)

#### ●ご購入時手数料

ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

●運用管理費用(信託報酬) ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。

純資産総額に年1.672% (税抜年1.52%)の率を乗じて得た額

- ●その他の費用・手数料 ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)
- ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用
- ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税

等

#### ●信託財産留保額(ご換金時)

1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

#### <お申込みに際してのご留意事項>

- ●ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ●ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ●ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- ●お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

#### <当資料について>

- ●当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ●当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- ●当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

〈委託会社〉野村アセットマネジメント株式会社[ファンドの運用の指図を行なう者] 〈受託会社〉三井住友信託銀行株式会社[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

http://www.nomura-am.co.jp/

●ホームページ

サポートダイヤル 00,0120-753104 〈受付時間〉営業日の午前9時~午後5時

